

8月5日 勉強

勉強が嫌いで、努力も嫌い。好きでもないことに時間を費やすことに違和感をずっと持っていた。テストで人間性が測れるはずもない。大人の思うようになりたくない。とにかく全てに抗っていた。心の中で。

そんな中高での学校生活。当然楽しいはずもない。屈折した6年間は、何も私に与えてはくれなかった。唯一好きだったのは国語の授業。想像の宇宙を自由に泳ぐことができたから。誰に咎められることもなく。

小説でも評論でも自分の解釈で読み込んでいた。先生の解説と自論をぶつけながら、いつも勝負していた。「なんで?どうして?」と自問していた。

そんなふうに私の思考回路は構築されてきたので、全てにおいて我流だ。けれども、修得するとはそういうものだと思っている。今でも。

